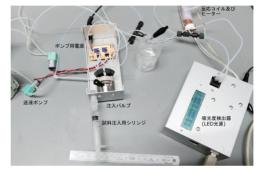
牛活環境研究所

所長 鈴木 保任

https://wwwr.kanazawa-it.ac.jp/eri/

高度な分析機器と設備を完備した環境化学の研究拠点

水質汚濁をもたらす栄養塩類や重金属イオン等の汚染物質を除 夫するためのシステムを構築し、水圏環境を保全することが水資 源を永続的に活用するための必須条件です。水圏環境は水域毎 に独特の精妙なバランスによって成り立つ複雑系であり、その 実態を正確に把握するためには、対象毎に水質測定法を開発す る必要があります。また、ターゲットとする化学種毎に最適の捕 集性能をもった吸着材を開発することが、水圏環境保全システ ムの開発には欠かせません。当該研究所は、水溶液中の極微量 元素をサブppmレベルで多成分同時に測定できる「誘導結合プ ラズマ発光分光分析装置 | をはじめ、高度な分析機器を完備して います。持続的に発展可能な社会を構築するための基盤となる、 レアメタルの資源回収技術やコンクリートの性能向上技術に関 する研究に取り組んでいます。石川県下の水圏環境保全と水資 源の有効利用にも積極的に取り組んでいます。



▲有機機能性材料の合成の様子





誘導結合プラ ズマ発光分光 分析装置によ る無機元素の 定量の様子

▲誘導結合プラズマ発光分析装置

RESEARCH THEME: 研究テーマ

水圏環境保全システムの開発

- ・陸水環境保全のための環境水 の水質測定
- ・環境水中微量成分の濃縮定 量法の開発
- ・コンクリート用表面含浸材の 作用機構解明に関する研究

有害物質除去システムの開発

- ・有害金属イオン捕獲材の開発
- 新奇特性を有する機能性高分 子架橋削の開発

レアメタルの分離回収

- ・選択的金属イオン吸着能を有 する機能性材料の開発
- ・配位子化合物の合成および特 性評価

研究キーワード

- · 溶媒抽出法
- · 分離分析化学
- 水圏環境化学
- 環境浄化材料
- · 簡易分析法
- ・流れ分析法
- ・環境分析

- · 多孔質機能性材料
- ・金属イオン吸着材の開発
- ・コンクリートの化学的侵食
- けい酸塩系表面含浸材 有機機能性材料
- 有機合成
- 複素環配位子